

**続発！ 豚流行性下痢！****【概要】**

発 生 地	鹿児島県南部	宮崎県南部
発生戸数	24戸	5戸
診断日(確定日)	H25.12.11～12.25	H25.12.13～12.24
飼育頭数	計 74,479 頭	計 5,209 頭
発生頭数 (調査中除く)	繁殖豚 577 頭 子豚・肥育豚 4,724 頭	繁殖豚 55 頭 子豚・肥育豚 240 頭

本病は、感染家畜及び糞便に汚染された人や物によって伝播するので、対策の徹底をお願いします。

- ①出荷前の豚をよく観察し、臨床症状がある豚は出荷しない。
- ②出入りする車両は、荷台等も含め全体を洗浄消毒する。
- ③排せつ物の処理を適正に行う。特に液体は通常の曝気や塩素消毒処理ではウイルスは失活しない可能性があるので、可能な限り浄化後の上清などは農場内で使用しない。農地還元では、運搬経路や他の養豚場立地に十分注意する。
- ④分娩豚舎への病原体侵入防止のため、分娩舎作業は専従とし、専用の衣類・履物を使用する。
- ⑤河川水や地下水を使用する場合には、飲水用に限らず可能な限り、消毒する。

**飼養家畜に、下痢、嘔吐、食欲不振、死亡等の症状が確認された場合には、直ちに家畜保健衛生所へ通報してください。**

家畜の病気に関するお問い合わせは山梨県西部家畜保健衛生所まで  
電話・・・0551-22-0771 FAX・・・0551-22-6728  
夜間の連絡は・・・090-5564-1018  
土日・休日の連絡は・・・090-5564-1018 または 090-5568-0817

## 豚流行性下痢ウイルスに効果のある 車両消毒薬

各々、適正な濃度に希釈して使用してください。

		炭酸 ナトリウム※1	ヨウ素系	塩素系	アル デヒ ド系	複合	逆性 石けん ※2	
車 体	車体	○	× (腐食)	× (腐食)	○	× (腐食)	○	
	幌 (おおい)	○	× (着色)	○	○	○	○	
タ イ ヤ	タイヤ	○	○	○	○	○	○	
	タイヤ ハウス	○	× (腐食)	× (腐食)	○	× (腐食)	○	
エンジン ルーム		○	× (腐食)	× (腐食)	○	× (腐食)	○	
運 転 席	フロアー マット	○	○	○	○	○	○	
	ペダル 類	○	× (腐食)	× (腐食)	○	× (腐食)	○	
	その 他	金属	× (析出)	× (腐食)	× (腐食)	○	× (腐食)	○
		金属 以外	× (析出)	× (着色)	○	○	○	○

- ※1 豚伝染性下痢ウイルスは低温下ではpH耐性を持つため、4%炭酸ナトリウム溶液を用い、消毒液の濃度を維持すること。
- ※2 口蹄疫ウイルスの消毒には不適。